

令和5年度桜園地域貢献賞

受賞者：加藤 元士 准教授（看護栄養学部）

業績題名：「山口県内の児童・園児を対象とした食育推進への貢献」

受賞理由：

加藤元士准教授は平成18（2006）年から現在に至るまでの長年に渡り山口県内の児童・園児に対する食育活動に積極的に取り組まれ、県内の食育の推進に多大な貢献をされている。

加藤准教授が指導する栄養学科内課外活動「食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー」は、2006年の活動の立ち上げから現在までの17年間、地域に出て食育活動を推進してきた。その活動場所は、県内の小学校や幼稚園といった教育機関、保育園などの児童福祉施設、各種公共団体やコープやまぐち等と協働したイベントなど広い範囲に及んでおり、地域における実践的な食育の普及に大きな功績を残している。この活動の評価の高さは、平成29年度「第1回食育活動表彰」（農林水産省）において農林水産大臣賞を受賞していることから明らかである。

本チームの活動は、報道機関により度々取り上げられてきた経緯もあり、これらの活動実績は本学が受ける評価の向上に多大な貢献をしていると考えられる。

さらに加藤准教授は、卒業生やその趣旨に賛同する者と共に「やまぐち食育プログラム開発研究会」を立ち上げ、その活動の場を広げている。

以上のように加藤准教授が果たしてきた功績は非常に大きいことから桜園学術三賞地域貢献賞に推薦され、受賞に至った。